

レクタブル[®]2mg 注腸フォーム14回 を使用される方へ

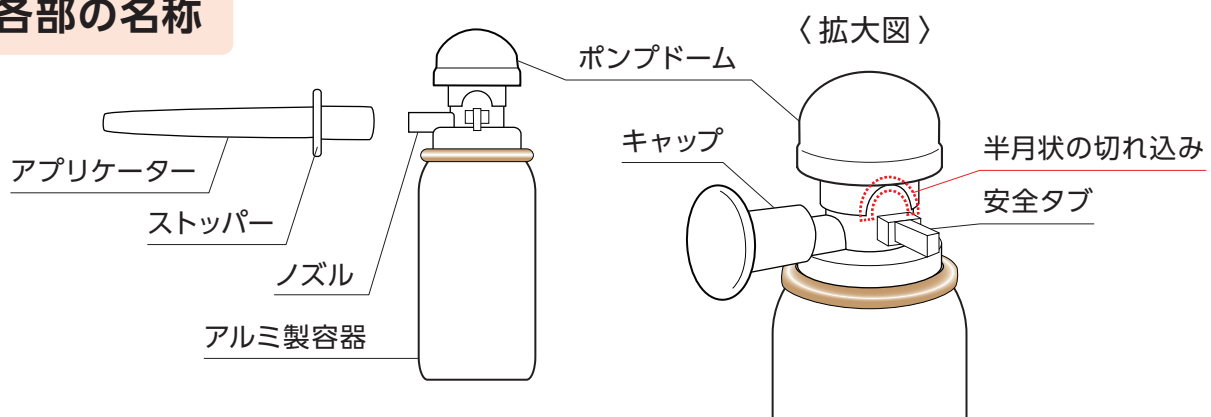
全般的な注意事項

- 14回使用したら、薬液が残っていても新しい容器に交換してください。
- アプリケーターだけの提供はできませんので、アプリケーターはなくさないよう注意してください(本剤にはアプリケーターが14本梱包されています)。
- 手指や目などにお薬が付着した場合は、速やかに水で洗い流してください。
- 高圧ガス(LPG)を使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ってください。
 - ☑ 炎や火気の近くで使用しない
 - ☑ 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光のあたる所や火気などの近くに置かない
 - ☑ 火の中に入れてない
- レクタブル[®]の特性として、投与回数の増加とともに、ポンプドームが徐々に硬くなる場合があります。投与時にゆっくり押ししたり、ゆっくり戻すような操作をすると、ポンプドームに負担がかかり、ポンプドームが硬くなったり、戻りが悪くなる場合があります。

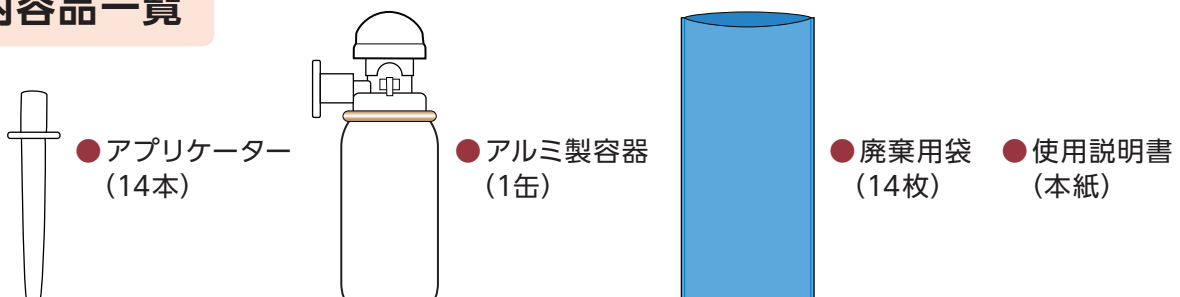
保管について

- アルミ製容器は、立てた状態で保管してください(倒して保管しないでください)。
- 室温(1~30℃)でキャップをつけた状態で保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。

各部の名称



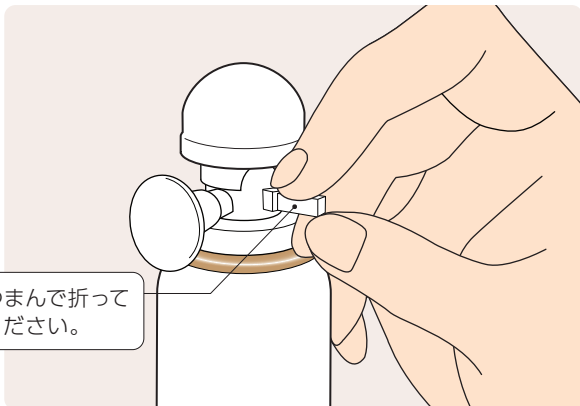
内容品一覧



使用の準備

※使用前には、できるだけ排便を済ませてください。

1 安全タブを外す 初回使用時のみ

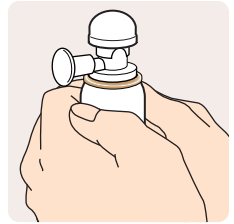


つまんで折ってください。

安全タブは、折れにくいのでご注意ください。

使用前に毎回アルミ製容器を手や脇の下で温めてください

- 使用前はしばらくの間、約20～30℃の場所に置いておくと、温めやすくなります。
- 高圧ガスを使用しているため、体温以外では温めないでください。



※冷えていると、薬液の流動性が悪くお薬が出にくい場合や、ポンプドームが押しにくい場合があります。

アルミ製容器を振って、バシャバシャという音がすることを確認してください。

音がしない場合、再度手や脇の下で温めてください。

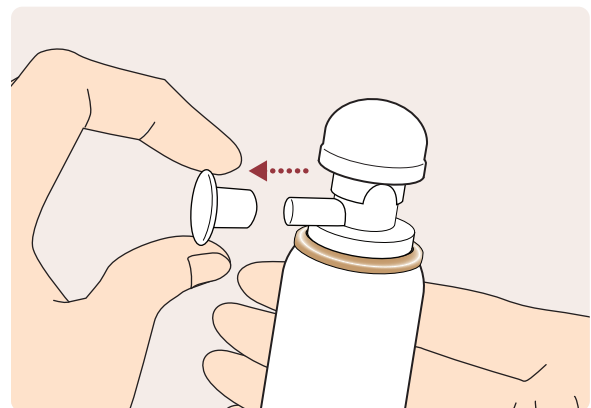
2 15秒間振る



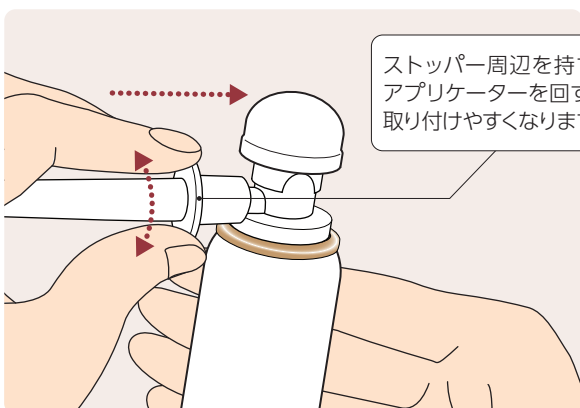
※半月状の切れ込みが、ノズルの真上でないことを確認してください。

アルミ製容器を15秒間よく振ってください。

3 キャップを外す



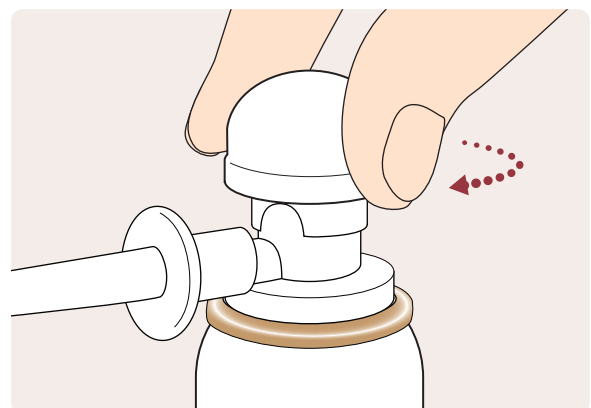
4 アプリケーターの取り付け



ストッパー周辺を持ち、アプリケーターを回すと取り付けやすくなります。

アプリケーターをノズルの根元までしっかり取り付けます。毎回、新しいものを使ってください。

5 ポンプドームを回す



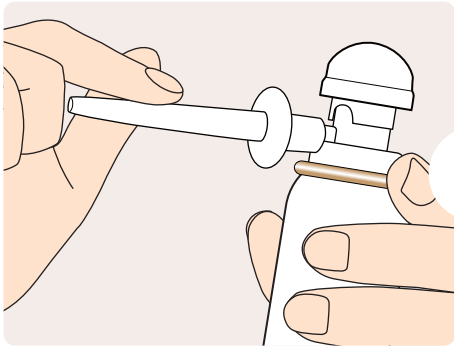
ポンプドームを回し、半月状の切れ込みがノズルの真上になるように合わせます。

お薬を使用する準備ができました。右頁の使用方法をご覧ください。▶▶▶

使用方法

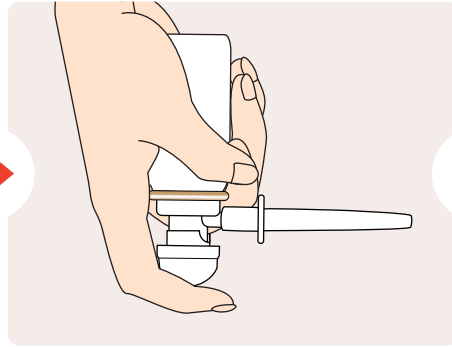
使用中または使用後に異常を認めた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

1 必要に応じて、ワセリンなどの潤滑剤を塗る



挿入しやすいように、アプリケーターに潤滑剤を塗ります。

2 容器を持ち、真下に向ける



ポンプドームに人差し指または、人差し指と中指の2本を置き、アルミ製容器を真下に向けます。

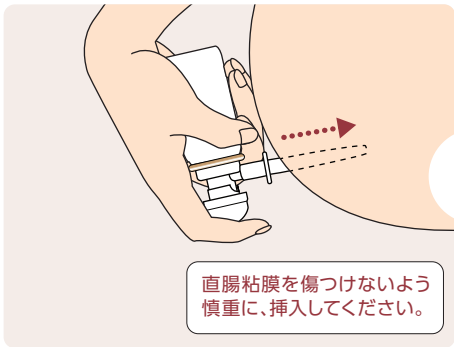
3 片足をイスや洋式トイレにのせ、上半身を少し前に倒す



立った姿勢で、片方の足をイスや洋式トイレにのせると操作しやすくなります。

アプリケーターを挿入しやすく、ポンプドームを押しやすい体勢をとります。

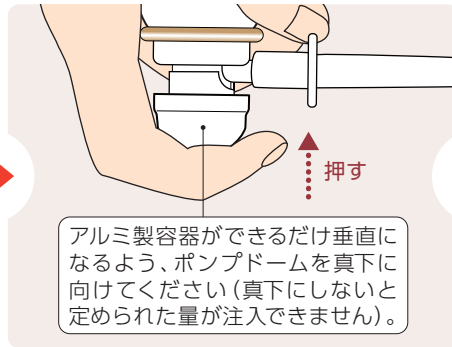
4 肛門にアプリケーターを挿入



直腸粘膜を傷つけないよう慎重に、挿入してください。

アルミ製容器を逆さまにしたまま、肛門にアプリケーターをストッパーまで挿入します。挿入によって痛みが生じる場合には、無理のないところまで挿入してください。

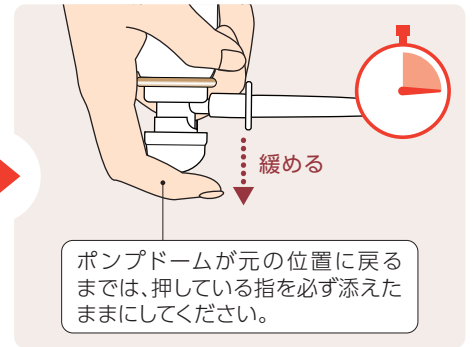
5 ポンプドームを押し続けたまま約2秒待つ



アルミ製容器ができるだけ垂直になるよう、ポンプドームを真下に向けてください(真下にしないと定められた量が注入できません)。

ポンプドームを完全に1回押し、そのまま約2秒間押し続けたままにします(この状態ではお薬は出ません)。1回の使用で2回以上押ししないでください。

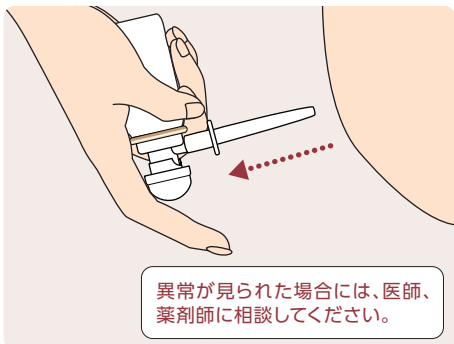
6 押し続けている指の力をずっと緩め、約15秒待つ



ポンプドームが元の位置に戻るまでは、押し続けている指を必ず添えたままにしてください。

アプリケーターを肛門に挿入したまま、ポンプドームが元の位置に戻るまで押し続けている指の力をずっと緩め、約15秒間待ちます(この間にお薬が注入されます)。

7 アプリケーターを引き抜く



異常が見られた場合には、医師、薬剤師に相談してください。

アプリケーターを肛門からゆっくり引き抜きます。お薬が肛門からもれた場合は、速やかにふきとってください。

ポンプドームに負担をかけないように押し続けてください

ポンプドームは、

- ① 過度にゆっくり押し続けたり、急に指を離すような操作はしないでください。
- ② 薬剤投与時以外はポンプドームの操作は行わないようにしてください。

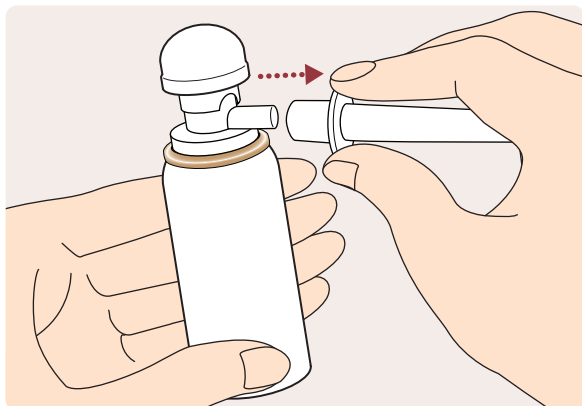
※これらの操作により、ポンプドームが硬くなったり、ポンプドームが外れるなどのアルミ製容器の不具合が生じる可能性があります。

レクタブル®使用方法の動画を、右記のQRコード、もしくは下記URLから見るができます。

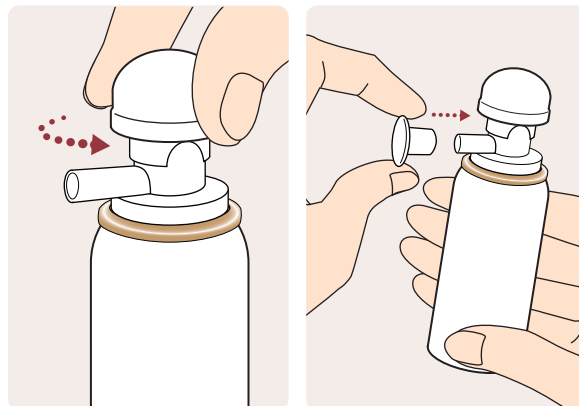
<http://rectabul-kissei.jp/>



使用終了後



アプリケーターをノズルから取り外します。使用済みのアプリケーターは、廃棄用袋に入れて、各自治体のルールに従って廃棄してください。



ポンプドームを回して、半月状の切れ込みを使用前の位置に戻し、ノズルにキャップをつけます。

廃棄方法

- 廃棄する前にまず、アルミ製容器に残った薬剤をできる限り出し切ってください。その際、アルミ製容器に穴を開けないでください。
※当製品は、1缶14回、安定した量の薬剤を噴射できるように多めに薬剤が充填されています。そのため、14回噴射した後もある程度の薬剤が残るようになっています。
- その後、地方自治体により定められたアルミ製容器の廃棄ルールに従って捨ててください。

販売元

 **キッセイ薬品工業株式会社**